

第197回北大小児科特別集談会

Special Seminar — Neuromuscular Care & Clinical Research for children



日時
場所

2026年 10月22日（木） 17:00–19:00

Here! 

臨床大講堂 | School of Medicine, Hokkaido University
(Hybrid presentation)

神経筋疾患の周術期ケアから、質の高い臨床研究まで

神経筋疾患の生命予後が改善する中、疼痛・リハビリテーション、整形外科手術、呼吸を含む周術期管理の重要性はさらに高まっています。本特別集談会では、米国の第一線で活躍する4名の専門家を迎え、臨床実践と研究方法論の最新知見を共有します。

01

GUEST
SPEAKER

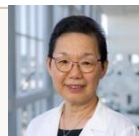
Heakyung Kim, MD

神経筋疾患患者の疼痛管理

Perioperative Pain Management in Patients with Neuromuscular Diseases

疼痛管理を軸に、疾患修飾治療時代の運動・呼吸リハビリテーションと周術期ケアを考える。

テキサス大学サウスウェスタン医療センター リハビリテーション医学科主任教授
専門領域：小児リハビリテーション、脳性麻痺の疼痛・痙性管理、筋・神経超音波の第一人者



02

GUEST
SPEAKER

Brian Snyder, MD, PhD

神経筋疾患患者に対する整形外科手術

Orthopaedic Surgical Management of Children with Neuromuscular Diseases

脊柱固定術をはじめ、希少神経筋疾患に対する専門的な整形外科治療の経験と臨床研究から学ぶ。

ハーバード大学医学部整形外科教授、ボストン小児病院小児整形外科医、ボストン大学生体工学研究教授
専門領域：小児神経筋疾患、脳性麻痺、脊椎・股関節疾患の外科治療、筋骨格バイオメカニクスの世界的研究者



03

GUEST
SPEAKER

Robert J. Graham, MD

神経筋疾患患者の周術期管理

Perioperative Medical Management of Children with Neuromuscular Diseases

PICU・急性呼吸不全・抜管を中心に、NPPVやMIEを活用した専門的チーム医療を紹介する。

ハーバード大学医学部准教授、ボストン小児病院麻酔・集中治療科医
専門領域：小児神経筋疾患の周術期・呼吸管理、在宅人工呼吸、SMAなど複雑慢性疾患の包括的ケアの第一人者



04

GUEST
SPEAKER

Hiroko Matsumoto, PhD

質の高い臨床研究の実践と陥りがちな落とし穴

Best Practices in Clinical Research and Common Pitfalls to Avoid

交絡、選択バイアス、統計手法の誤用などを実例から学び、研究の質と厳密性を高める。

ハーバード大学医学部・ボストン小児病院整形外科講師。
専門領域：臨床疫学を専門とし、小児脊椎疾患・神経筋疾患の臨床研究を牽引している



臨床と研究をつなぐ、2時間のスペシャルセミナー。ぜひご参加ください。

問い合わせ先：北海道大学小児科 阿部 二郎 (0117065954) E-mail : jiroplus5311@med.hokudai.ac.jp